

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表日：2024年3月29日

事業所名：一関市かるがも教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	0	0	0		法令を順守し、活動しやすいスペースを確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	0	0	1		職員数については配置基準に基づいた職員を配置し、安全に活動できる体制にしています。職員の休暇時や日頃の活動における安全確保等に今後も十分対応できるように、職員配置等の適正数維持に努めます。今後も職員の専門性を高め、技術及び療育の質の向上を目指します。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	0	0	1		各種掲示物のほか靴箱やロッカーの表示など、お子様の目線に合わせて視覚支援を行っています。またパーテーションなどを活用しながら、活動に集中しやすいよう環境調整を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	0	0	0		毎日事業所内の清掃を行っておりますが、今後更なる清潔保持に努めます。また、新型コロナウイルス感染症防止対策としての活動場所や教材の消毒を継続しています。今後も活動に集中しやすい空間づくりに努めます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	17	0	0	0		保護者からの聞き取りのもと、お子様一人ひとりの特性や興味関心、状況に合わせたアセスメントやモニタリングを行い、児童発達支援計画を作成しています。活動を行うにあたって見立てをしっかりと行い、発達状態に応じた活動になっているか、内容に無理や危険性がないかを常に確認しながら計画を作成して参ります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	1	0	1		個々の特性に応じた支援内容を盛り込み、関係機関との連携に努めています。今後もガイドラインを考慮しながら適切な支援内容を設定できるように努めます。また、児童発達支援ガイドラインの内容については、今後も職員間で共有しながら、理解を深めていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16	0	0	1		児童発達支援計画に則った支援内容をその都度検討しており、お子様一人ひとりの状態や特性に合わせて職員間で協議しながら指導を工夫しています。また、保護者との共通理解を図りながら支援を行うよう努めています。
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	16	1	0	0		季節感のある活動を取り入れ、お子様の特性やその日の状況を加味しながら、主体的に取り組める内容を工夫しています。お子様の出席状況も考慮しながら、プログラムが適切か検討しています。半期ごとに立案する支援計画の達成状況などを考慮しながら、最適な活動プログラムとなるよう今後も検討を重ねます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	1	4	0		就園しているお子様が大半です。事業所の活動として交流の機会は設けておりませんが、未就園で重度の障害を持ったお子様を対象とした近隣の保育園事業（はと組）に例年同行しています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	0	0	0		児童発達支援の提供開始にあたり、初回契約時に契約書及び重要事項説明書の内容について丁寧に説明しています。今後もより丁寧な説明を心掛けるほか、必要に応じて都度説明を行うなど安心して支援を受けられるよう努めます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	16	0	0	1		保護者の希望や要望、発達評価や発達検査の結果等を総合的に捉え、児童発達支援計画を作成しています。又、保護者への説明を行い、同意を得ています。今後も、より丁寧な説明を心掛けます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	13	1	0	2		活動後にフィードバックを行い、療育で実施している内容や声がけ、関わり方についての助言を行っています。また、必要に応じてこども家庭課主催のペアレントトレーニングへの参加を促すなど、家族支援を行っています。かるがも千原教室と合同開催のペアレントトレーニングを1回実施し、希望された保護者の方々数名にご参加いただきました。今後も保護者の皆様のご希望を伺いながら、更なる家族支援を検討します。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	16	1	0	0		活動時の連絡シートの記入や活動後のフィードバックを行い、共通理解に努めています。電話相談や保護者がお話ししやすい雰囲気づくりも含め、今後も引き続き共通理解に努めます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1	0	0		活動後のフィードバックや、随時相談に応じる体制を整備し、必要に応じて関係機関の協力を得ながら支援提供に努めています。今後も必要に応じて面談の機会を別途設けるなど、支援の充実に努めます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	2	1	2		今年度は保護者同士の交流の機会として、「親の会」を1回開催しました。来年度以降も皆様のご希望を伺いながら、保護者が参加しやすい形態での実施を検討していきます。また、更なる連携支援についても検討します。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	0	0	1		活動後のフィードバックや、随時相談に応じる体制を整備し、必要に応じて関係機関の協力を得ながら支援提供に努めています。お子様と保護者に寄り添いながら支援ができるよう、今後も相談しやすい環境づくりを進め、迅速かつ適切で丁寧な対応を心掛けます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1	0	0		マカトンサインや写真、絵カード等を用い、お子様の状況に合わせ個別に支援を行っています。保護者への連絡等に関しては、必要に応じて書面で提供するなどにより対応しています。引き続き状況に応じた配慮を行います。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	1	0	3		毎月のおたよりや、親だよりの発行を行っています。また、自己評価の結果につきましてはR6年3月末までにホームページ等で公開します。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14	0	0	3		随時、職員間での個人情報の取り扱いについて注意喚起を行っています。 引続き、個人情報の厳重な管理及び適正な取り扱いに努めます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	13	1	1	2		例年緊急時の避難訓練を年2回実施しており、そのうち1グループに訓練への参加をお願いしていましたが、今年度は全グループで避難訓練を実施しました。また緊急時や感染症等の対応やマニュアルに関する周知・説明についての充実を検討します。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	3	1	1		避難訓練については年2回程度実施しており、そのうちの1回は児童と保護者に参加をお願いしていましたが、今年度は全グループで1回ずつ避難訓練を実施しました。訓練に参加できなかった方や訓練後に入所された方への避難についての周知を含め、今後もよりよい方法を検討します。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15	2	0	1		年齢、個々のねらいに応じた活動を楽しめるよう設定しております。今後もお子様の楽しい気持ちを引き出せる活動を心掛けつつ保護者支援のさらなる充実を検討し、お子様と保護者にとっての大切な時間の一つとなりますよう活動内容の工夫や環境整備に努めます。
	23	事業所の支援に満足しているか	16	0	0	1		これからも指導員間での情報共有とスキルアップ、内部研修などを行い、専門性を高めて更に満足いただける支援を提供します。教室の支援内容がご家庭でも活かせるよう、活動のねらいをお伝えする、お子様への声かけのポイントをお知らせするなど、保護者にとっても有意義な支援を目指します。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせさせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。